

決算

市は、4月から翌年3月までの1年間を1区切りにした会計年度ごとに、皆さんが納めた税金など、入ってくるお金(歳入)とそれをどのように使うか(歳出)を決める予算を組み、議会の議決を受けて事業を行います。そして、年度の最後に歳入と歳出、預金や借金の状況を明らかにする決算を行い、議会の承認を受けています。今月号では、一般会計を中心にその決算の内容や財政状況をお知らせします。

一般会計の支出は、前年度比0.1%の増加

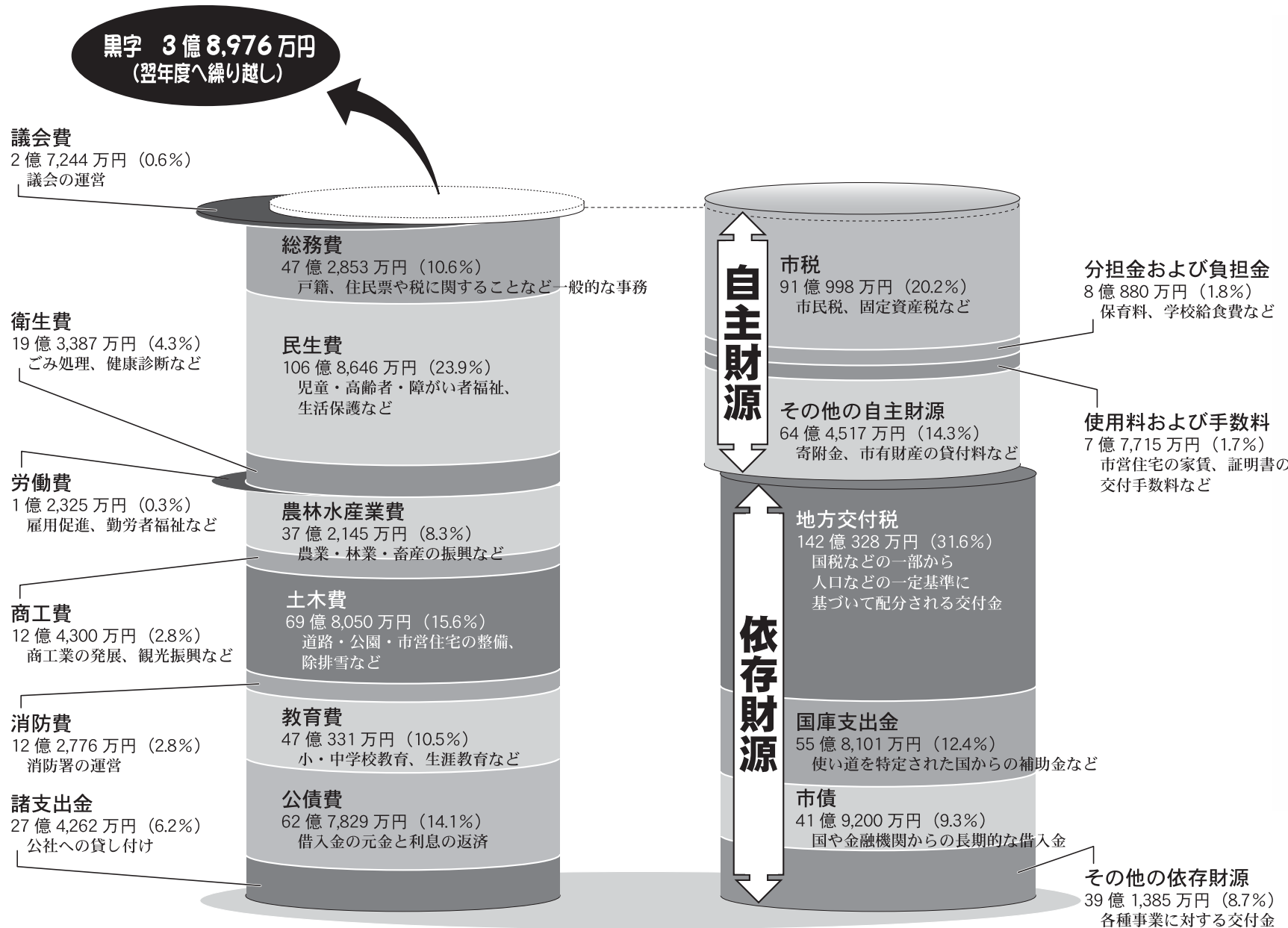
一般会計は、市の仕事を行うための基本的な経費についての会計です。

この会計の平成19年度1年間の収入は、450億3千124万円、支出は446億4千148万円、差し引くと3億8千976万円の剰余となりました。この剰余額には、平成20年度の事業に使う27万円が含まれているので、これを差し引いた実質的な剰余額は、3億8千700万円となります。

平成19年度の決算を前年度と比較すると、収入が0.7%減少し、支出が0.1%の増加となりました。

市債残高は、前年度より減少するも、依然として借金は多額

市の借金である一般会計の市債残



市税の負担状況(平成19年度)

| | |
|--------|----------|
| 金額 | 91億998万円 |
| 1人当たり | 99,113円 |
| 1世帯当たり | 218,475円 |

人口 91,915人
世帯数 41,698世帯
(平成20年3月31日現在)

市債の残高(平成19年度末)

| 各 会 計 | 現 在 高 |
|-------------|-------------|
| 一般会計 | 502億8,692万円 |
| 特別会計 | 40億2,114万円 |
| 公共用地等造成費 | 2億7,264万円 |
| 公設卸売市場費 | 1億7,996万円 |
| 高等学校費 | 6億2,562万円 |
| 農業集落排水事業費 | 1億2,298万円 |
| 北村簡易水道事業費 | 3億1,782万円 |
| 栗沢町簡易水道事業費 | 8億1,293万円 |
| 栗沢町下水道事業費 | 12億6,931万円 |
| 北村農業集落排水事業費 | 2億8,988万円 |
| 駅北土地区画整理事業費 | 1億3,000万円 |
| 合 計 | 543億806万円 |

市有財産の状況(平成19年度末)

| | |
|----------|---------------------------|
| 建物 | 507,665 m ² |
| 土地 | 27,788,011 m ² |
| うち山林 | 17,066,449 m ² |
| 機械器具(車両) | 235台 |
| 基金 | 26,160 m ² |
| 有価証券 | 139億9,856万円 |
| 出資による権利 | 4,682万円 |
| | 7億2,747万円 |

市の貯金である財政調整基金など、23ある基金の平成19年度末残高は、139億9千856万円、前年度末の残高に比べて、11億8千940万円減少しています。

これは、ばんえい競馬の廃止に伴う北海道市営競馬組合の清算に使用したためです。

なお、平成19年度は黒字決算となつたため、財政調整基金は使用しませんでした。

貯金(基金)は、前年度より減少

これは、市債の借入れを抑制したことや高金利の市債を繰り上げて返済したことによるものです。

また、返済金の一部を国からの交付税により補てんされる良質な市債の借入れに努めています。

持続可能な財政基盤の確立に向けた行財政運営

国の三位一体改革による地方交付税の削減や、依然として低迷する地方経済状況による地方税収の伸び悩

みなど、厳しい財政状況が続いてい
ます。

市を取り巻く財政環境も非常に厳
しい中、平成19年度の予算執行にあ
たっては、「人にやさしい温かい街
づくり」を目指し、重点分野である
福祉、医療、教育の充実に取り組
むなど、住民自治を基調とした協働の
まちづくりを推進しました。

また、「行政改革大綱」、「集中改革
プラン」に基づき、民間活力の導入
や合併によるスケールメリットを活
用した事務事業の効率化を進めなが
ら、健全な財政運営に努めました。
今後も厳しい財政状況が続くこと
が予想されますが、将来にわたって
安定して持続可能な財政基盤を確立
するための行財政運営を行ってい
ます。

平成19年度の主な事業

安全・安心で

快適に過ごさせるまちづくり

●市民参画・協働のまちづくり推進
事業
住民自治フォーラムなどを開催
し、住民自治への理解を深めてもら
うとともに、モデル地区の住民活動

子どもを守り育む学校支援推進事業

児童生徒のいじめ、不登校、問題
行動の未然防止、およびこれらの早
期発見と早期対応のため、地域の人
材を積極的に活用し、子どもたちを
複数の目で見守るとともに、様々な
角度から子どもたちを理解する、多
様な教育指導方法で支援しました。

●文化のまちづくり事業

優れた芸術文化の身近な鑑賞機会
を提供し、地域文化の振興を図りま
した。

活力ある

産業・経済のまちづくり

●持続的農業・農村づくり促進特例
対策事業

農業・農村の持続的な発展のため、
農業者が必要な生産基盤の整備に積
極的に取り組めるよう、農家負担の
軽減を図りました。

●駅周辺施設整備事業

有明連絡歩道、有明交流プラザ、
駐輪場などを整備し、駅周辺地区の
拠点機能の充実と、南北の均衡ある
市街地形成を進めました。

●雇用促進事業

若年層や中高年齢層など、幅広い
層の雇用機会の創出と就業機会の確
保・増大への支援を行いました。

問合せ 市財政課

を支援し、地域に根ざした市民参画
と協働のまちづくりを進めました。

●防災対策事業

災害に対し、自助・共助・公助を
基本としたそれぞれの役割を円滑に
発揮してもらうための防災対策の充
実を図りました。

●除排雪事業

市民の安全と安心を高めるため、
きめ細やかな除排雪を行いました。

人にやさしい

健康・福祉のまちづくり

●市民健康づくり推進事業

健康寿命の延伸のため、健康教育
や健康相談、訪問指導などを通し
て、生活習慣病と介護の予防に努め
るとともに、北海道教育大学岩見沢
校と連携し、調査研究や市民による
健康づくりの自主活動の育成支援を
行いました。

●乳幼児等医療助成事業

小学校卒業前の乳幼児等の医療費
の助成を行いました。

豊かな心を育む

教育・文化のまちづくり

●教育情報システム化推進事業

ITを活用した教育を推進すると
ともに、教育施設のIT環境を整備
しました。

特別会計

特定の収入があり、目的ご
とに使い道をはっきりさ
せるための会計

| 各特別会計 | 収入 | 支出 | 差引 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 国民健康保険費 | 110億9,472万円 | 110億2,245万円 | 7,227万円 |
| と畜場費 | 1億3,494万円 | 1億2,257万円 | 1,237万円 |
| 公共用地等造成費 | 1億9,119万円 | 3億4,474万円 | △1億5,355万円 |
| 公設卸売市場費 | 6,390万円 | 6,338万円 | 52万円 |
| 高等学校費 | 5億8,832万円 | 5億8,790万円 | 42万円 |
| 企業用地造成費 | 177万円 | 13億8,838万円 | △13億8,661万円 |
| 老人保健費 | 103億6,535万円 | 101億4,137万円 | 2億2,398万円 |
| 農業集落排水事業費 | 4,559万円 | 4,512万円 | 47万円 |
| 介護保険費 | 58億2,463万円 | 56億9,804万円 | 1億2,659万円 |
| 北村簡易水道事業費 | 1億3,445万円 | 1億3,067万円 | 378万円 |
| 栗沢町簡易水道事業費 | 1億2,520万円 | 1億2,496万円 | 24万円 |
| 栗沢町下水道事業費 | 2億6,355万円 | 2億6,286万円 | 69万円 |
| 北村農業集落排水事業費 | 5,178万円 | 5,118万円 | 60万円 |
| 駅北土地区画整理事業費 | 1億9,698万円 | 2億2,809万円 | △3,111万円 |
| 合計 | 290億8,237万円 | 302億1,171万円 | △11億2,934万円 |

企業会計

水道や病院など、民間企業
と同じように、料金などの
収益で運営する会計

収益的とは...年度内の経営活動の収入と、それに対応するすべての費用
資本的とは...将来の経営活動に備えて行う、施設の整備などの費用とその財源収入

| 各企業会計 | 収入 | 支出 | 差引 | |
|-------|-----|-------------|-------------|-------------|
| 病院事業 | 収益的 | 106億7,536万円 | 105億4,593万円 | 1億2,943万円 |
| | 資本的 | 12億3,147万円 | 32億5,649万円 | △20億2,502万円 |
| 水道事業 | 収益的 | 13億6,704万円 | 12億1,509万円 | 1億5,195万円 |
| | 資本的 | 4億6,462万円 | 10億6,612万円 | △6億150万円 |
| 下水道事業 | 収益的 | 19億7,799万円 | 16億7,625万円 | 3億174万円 |
| | 資本的 | 28億2,237万円 | 35億140万円 | △6億7,903万円 |

資本的収支の赤字分については、当年度純利益などで補てんしました。

【病院事業】

| | |
|---------|--------|
| ●市立総合病院 | |
| 入院1日平均 | 467人 |
| 外来1日平均 | 1,116人 |
| ●市立栗沢病院 | |
| 入院1日平均 | 70人 |
| 外来1日平均 | 95人 |

【水道事業】

| | |
|---------|---------------------------|
| 給水戸数 | 42,193戸 |
| 給水人口 | 87,838人 |
| 総配水量 | 10,023,198 m ³ |
| 1日平均配水量 | 27,386 m ³ |

【下水道事業】

| | |
|--------|---------------------------|
| 処理区域面積 | 2,174 ha |
| 普及率 | 81.2% |
| 水洗化率 | 98.0% |
| 処理水量 | 10,145,184 m ³ |

平成19年度決算の健全化判断比率などをお知らせします

□健全化判断比率

| 指標名 | 岩見沢市 | 早期健全化 基準 | 財政再生 基準 | 説明 |
|----------|-------|-------------|------------|--|
| 実質赤字比率 | 黒字 | 12.11% | 20% | 一般会計等の赤字を市税等の財源規模と比較する割合 |
| 連結実質赤字比率 | 黒字 | 17.11% | 30% | 一般会計のほか、特別会計、企業会計すべての会計の赤字を市税等の財源規模と比較する割合 |
| 実質公債費率 | 12.7% | 25% | 35% | 財政規模に対する借入金の返済額およびこれに準じる額の割合 |
| 将来負担比率 | 68.5% | 350% | | 一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合 |

岩見沢市はいずれの指標も基準を下回っています。早期健全化基準を上回った場合は自治体で計画を立てて自主的に、財政再生基準を上回った場合は国などの関与の下で、財政再建することとなります

□資金不足比率（特別会計、企業会計）

| 指標名 | 会計名と割合 | 経営健全化 基準 | 説明 |
|--------|---------------|-------------|--|
| 資金不足比率 | 企業用地造成費 77.3% | 20% | 国民健康保険費、老人保健費と介護保険費を除く特別会計と企業会計の資金不足を、料金収入の規模と比較する割合 |

その他の会計では、資金不足を生じていません。